

圃場カルテ(水稻)

資料 7

生産者氏名		土壌採取日	西暦	年	月	日
電話番号		圃場名・番号				
自宅住所		圃場住所				
硬度計データNo		管理コード(8桁)	道県コード/担当番号/管理番号:			

1. 圃場の概要と水管理

排水条件	①漏水過多 ②適切 ③排水不良	圃場面積	a または ha
作付体系	①単作 ②田畑輪換(作付順序:)		
水管理	①常時湛水 ②飽水管理(月 日~ 月 日) ③間断灌漑(月 日~ 月 日)		

2. 本年作の栽培期間と収量・品質

栽培期間	田植(年 月 日) → 収穫(年 月 日)	品種名	
収量	地域(または生産組織)の平均との比較(平均を 100 とした場合): ①80未満 ②80~100 ③100 ④100~120 ⑤120以上 具体的な収量(kg/10a)		
等級	①1等 ②2等 ③3等	品質	タンパク質含量(%) ※分かれれば記入
未熟粒など	①なし ②白未熟粒多い ③胴割粒多い ④着色粒多い ⑤その他()		

3. 本年作への堆肥、土壌改良資材、肥料の施用状況

区分	内容
稲わら処理	①全量鋤込(年前から) ②一部鋤込(年前から) ③持ち出し
堆肥	有無:①無施用 ②毎年施用(年連用) ③時々施用(年に1回) 種類:①牛ふん堆肥 ②豚ふん堆肥 ③鶏ふん堆肥 ④その他() 施用量(t/10a) 施用日(月 日)
土壌改良資材	①熔リン ②ケイカル ③苦土石灰 ④石灰窒素 ⑤その他() 施用量(kg/10a)
肥料	①全面全層施用 ②側条施用 ③苗箱施用
基肥	肥料名 _____ (N-P-K: %) 施用量 _____ kg/10a 施用日 _____ 月 日
穂肥	肥料名 _____ (N-P-K: %) 施用量 _____ kg/10a 施用日 _____ 月 日
穂肥	肥料名 _____ (N-P-K: %) 施用量 _____ kg/10a 施用日 _____ 月 日
ケイ酸追肥	肥料名 _____ (成分: %) 施用量 _____ kg/10a 施用日 _____ 月 日

4. 本年作の倒伏、生育障害、病害虫、問題点など

区分	内容
倒伏	①ほとんどなし ②1/3倒伏 ③1/2倒伏 ④2/3倒伏 ⑤全面倒伏
生育異常	①なし ②秋落ち症 ③赤枯れ症 ④ガス等発生による障害(春先) ⑤初期生育抑制(下位葉の黄化と分けつ抑制) ⑥その他()
病害	①なし ②いもち病 ③ごま葉枯病 ④紋枯病 ⑤その他() 圃場の____%発生
虫害	①なし ②カメムシ類 ③ウンカ類 ④イネミズゾウムシ ⑤スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ) ⑥その他() 圃場の____%発生
生育、収量、品質面で困っている問題	※改善のための創意工夫があればそれも記入

圃場カルテ(葉菜・根菜類)

生産者氏名		土壌採取日	西暦 年 月 日
電話番号		圃場名・番号	
自宅住所		圃場住所	
硬度計データNo		管理コード(8桁)	道県コード/担当番号/管理番号:

1. 圃場の概要

排水条件	①排水過多 ②適切 ③排水不良	圃場面積	a または ha
作付体系	①連作(年間 作) ②輪作(作付順序:)		

2. 前作の栽培期間・収量と後作予定(※前作が土壌診断の対象作物)

栽培形態	①ハウス ②露地	前作	作物名() 品種名()
栽培期間	播種または定植(年 月 日) → 収穫(年 月 日)		
収量	地域(または生産組織)の平均との比較(地域平均を100とした場合): ①80未満 ②80~100 ③100 ④100~120 ⑤120以上 具体的な収量(t/10a)		
後作予定	作物名() 品種名() 播種/定植(年 月 日)		

3. 前作への堆肥、土壌改良資材、肥料の施用と土壌消毒の状況

区分	内容
堆肥	有無:①無施用 ②毎年施用(年連用) ③時々施用(年に1回) 種類:①牛ふん堆肥 ②豚ふん堆肥 ③鶏ふん堆肥 ④その他() 施用量(t/10a) 施用日(月 日)
土壌改良資材	①苦土石灰 ②石灰窒素 ③その他() 施用量(kg/10a)
肥料	①全面全層施用 ②畝内施用
基肥	肥料名 _____ (N-P-K: %) 施用量 _____ kg/10a 施用日 _____ 月 日
追肥	肥料名 _____ (N-P-K: %) 施用量 _____ kg/10a 施用日 _____ 月 日
追肥	肥料名 _____ (N-P-K: %) 施用量 _____ kg/10a 施用日 _____ 月 日
土壌消毒	①なし ②あり 薬剤(名称 _____)・太陽熱・その他(_____) 実施月 _____ 月

4. 前作の生育状況、可販品率、生理障害、病虫害、問題点など

区分	内容
生育状況	①旺盛すぎる ②適切 ③劣る
可販品率	①ほぼ100% ②90%以上 ③80%以上 ④80%未満
生理障害	①なし ②葉の異常() ③根の異常()
病害	①なし ②根こぶ病(アブラナ科) ③立枯病 ④萎凋病 ⑤軟腐病 ⑥萎黄病 ⑦根腐病 ⑧そうか病 ⑧その他() 圃場の____%発生
虫害	①なし ②ネコブセンチュウ ③ネグサレセンチュウ ④ジャガイモシストセンチュウ ⑤ホウレンソウケナガコナダニ ⑥その他() 圃場の____%発生
生育、収量、品質面で困っている問題	※改善のための創意工夫があればそれも記入

圃場カルテ(果菜類)

生産者氏名		土壌採取日	西暦 年 月 日
電話番号		圃場名・番号	
自宅住所		圃場住所	
硬度計データNo		管理コード(8桁)	道県コード/担当番号/管理番号:

1. 圃場の概要

排水条件	①排水過多 ②適切 ③排水不良	圃場面積	a または ha
作付体系	①連作(年間 作) ②輪作(作付順序:)		

2. 前作の栽培期間・収量と後作予定(※前作が土壌診断の対象作物)

栽培形態	①ハウス ②露地	前作	作物名() 品種名()
栽培期間	定植(年 月 日) → 収穫(年 月 日)		
収量	地域(または生産組織)の平均との比較(平均を 100 とした場合): ①80 未満 ②80~100 ③100 ④100~120 ⑤120 以上 具体的な収量(t/10a)		
後作予定	作物名() 品種名() 定植(年 月 日)		

3. 前作への堆肥、土壌改良資材、肥料の施用と土壌消毒の状況

区分	内容
堆肥	有無:①無施用 ②毎年施用(年連用) ③時々施用(年に1回) 種類:①牛ふん堆肥 ②豚ふん堆肥 ③鶏ふん堆肥 ④その他() 施用量(t/10a) 施用日(月 日)
土壌改良資材	①苦土石灰 ②石灰窒素 ③その他() 施用量(kg/10a)
肥料	
基肥	肥料名 _____ (N-P-K: _____ %) 施用量 _____ kg/10a 施用日 _____ 月 _____ 日
追肥	肥料名 _____ (N-P-K: _____ %) 施用量 _____ kg/10a 施用日 _____ 月 _____ 日
追肥	肥料名 _____ (N-P-K: _____ %) 施用量 _____ kg/10a 施用日 _____ 月 _____ 日
土壌消毒	①なし ②あり 薬剤(名称 _____)・太陽熱・その他(_____) 実施月 _____ 月

4. 前作の樹勢、生理障害、病害虫、問題点等

区分	内容
樹勢の特徴	①旺盛すぎる ②適切 ③悪い
生理障害	①なし ②果実の異常(_____) ③葉・茎の異常(_____)
病害	①なし ②青枯病 ③ホモブシス根腐病 ④疫病 ⑤つる割病 ⑥半身萎凋病 ⑦その他(_____) 圃場の _____ %発生
虫害	①なし ②ネコブセンチュウ ③ネグサレセンチュウ ④その他(_____) 圃場の _____ %発生
生育、収量、品質面で困っている問題	※改善のための創意工夫があればそれも記入

圃場カルテ(果樹)

生産者氏名		土壌採取日	西暦 年 月 日
電話番号		圃場名・番号	
自宅住所		圃場住所	
圃場位置	緯度: 経度:	管理コード(8桁)	道県コード/担当番号/管理番号:

※緯度・経度は、スマホ等を利用して記入する。

1. 圃場の概要

日照条件	①不良 ②やや不良 ③良好	排水条件	①排水過多 ②適切 ③排水不良
土性	①砂質 ②壤質 ③粘質	表土の硬さ	①硬い ②普通 ③柔らかい
表土管理	①清耕 ②草生 ③マルチ	圃場面積	a または ha

2. 本年作の収量・品質

栽培形態	①ハウス ②露地	本年作	樹種名() 品種名()
樹齢・台木	樹齢(年) 台木名()		
収量	地域(または生産組織)の平均との比較(平均を100とした場合): ①80未満 ②80~100 ③100 ④100~120 ⑤120以上 具体的な収量(t/10a)		
糖度	地域平均との比較:①低い ②普通 ③高い 具体的な糖度(度)		

3. 本年作への堆肥、土壌改良資材、肥料の施用と土壌消毒の状況

区分	内容
堆肥	有無:①無施用 ②毎年施用(年連用) ③時々施用(年に1回) 種類:①牛ふん堆肥 ②豚ふん堆肥 ③鶏ふん堆肥 ④その他() 施用量(t/10a) 施用日(月 日)
土壌改良資材	①苦土石灰 ②石灰窒素 ③その他() 施用量(kg/10a)
肥料	
基肥	肥料名 (N-P-K: %) 施用量 kg/10a 施用日 月 日
追肥	肥料名 (N-P-K: %) 施用量 kg/10a 施用日 月 日
お礼肥	肥料名 (N-P-K: %) 施用量 kg/10a 施用日 月 日
土壌消毒	①なし ②あり 薬剤(名称) 実施月 月

4. 本年作の樹勢、生理障害、病虫害、問題点等

区分	内容
樹勢の特徴	①旺盛すぎる ②適切 ③悪い
生理障害	①なし ②果実の異常() ③葉・枝の異常()
病害	①なし ②紋羽病 ③根頭がんしゅ病 ④その他() 圃場の__%発生
虫害	①なし ②ネコブセンチュウ ③ネグサレセンチュウ ④その他() 圃場の__%発生
生育、収量、品質面で困っている問題	※改善のための創意工夫があればそれも記入

圃場カルテ(花き)

生産者氏名		土壌採取日	西暦 年 月 日
電話番号		圃場名・番号	
自宅住所		圃場住所	
硬度計データNo.		管理コード(8桁)	道県コード/担当番号/管理番号:

1. 圃場の概要

排水条件	①排水過多 ②適切 ③排水不良	圃場面積	a または ha
作付体系	①連作(年間 作) ②輪作(作付順序:)		

2. 前作の栽培期間・収量と後作予定(※前作が土壌診断の対象作物)

栽培形態	①ハウス ②露地	前作	作物名()※ 品種名()
栽培期間	播種または定植(年 月 日) → 収穫(年 月 日)		
収量	地域(または生産組織)の平均との比較(平均を100とした場合): ①80未満 ②80~100 ③100 ④100~120 ⑤120以上 具体的な収量(本/10a)		
後作予定	作物名()※ 品種名() 定植(年 月 日)		

※作物名は、切り花、球根養成の区別も記入する。

3. 前作への堆肥、土壌改良資材、肥料の施用と土壌消毒の状況

区分	内容
堆肥	有無:①無施用 ②毎年施用(年連用) ③時々施用(年に1回) 種類:①牛ふん堆肥 ②豚ふん堆肥 ③鶏ふん堆肥 ④その他() 施用量(t/10a) 施用日(月 日)
土壌改良資材	①苦土石灰 ②石灰窒素 ③その他() 施用量(kg/10a)
肥料	
基肥	肥料名 _____ (N-P-K: %) 施用量 _____ kg/10a 施用日 _____ 月 _____ 日
追肥	肥料名 _____ (N-P-K: %) 施用量 _____ kg/10a 施用日 _____ 月 _____ 日
追肥	肥料名 _____ (N-P-K: %) 施用量 _____ kg/10a 施用日 _____ 月 _____ 日
土壌消毒	①なし ②あり 薬剤(名称 _____)・太陽熱・その他(_____) 実施月 _____ 月

4. 前作の生理障害、病虫害、問題点等

区分	内容
生理障害	①なし ②花の異常(_____) ③葉・茎の異常(_____)
病害	①なし ②立枯れ性病害 ③萎凋病 ④その他(_____) 圃場の _____%発生
虫害	①なし ②ネグサレセンチュウ ③ネコブセンチュウ ④その他(_____) 圃場の _____%発生
生育、収量、品質面で困っている問題	改善のための創意工夫があればそれも記入

圃場カルテ(ダイズ、エダマメ、ソバ、コムギなど)

生産者氏名		土壌採取日	西暦 年 月 日
電話番号		圃場名・番号	
自宅住所		圃場住所	
硬度計データNo		管理コード(8桁)	道県コード/担当番号/管理番号:

1. 圃場の概要

排水条件	①排水過多 ②適切 ③排水不良	圃場面積	a または ha
作付体系	①連作(年間 作) ②輪作(作付順序:)		

2. 前作の栽培期間・収量と後作予定(※前作が土壌診断の対象作物)

作物名		品種名	
栽培期間	播種(年 月 日) → 収穫(年 月 日)	根雪日数	(日)※
収量	地域(または生産組織)の平均との比較(平均を 100 とした場合): ①80 未満 ②80~100 ③100 ④100~120 ⑤120 以上 具体的な収量(kg/10a)		
後作予定	作物名() 品種名() 播種(年 月 日)		

※積雪地域の秋播ムギについては、根雪日数も記載する。

3. 前作の堆肥、土壌改良資材、肥料の施用と土壌消毒の状況

区 分	内 容
堆 肥	有無:①無施用 ②毎年施用(年連用) ③時々施用(年に1回) 種類:①牛ふん堆肥 ②豚ふん堆肥 ③鶏ふん堆肥 ④その他() 施用量(t/10a) 施用日(月 日)
土壌改良資材	①苦土石灰 ②石灰窒素 ③その他() 施用量(kg/10a)
肥 料	
基 肥	肥料名 _____ (N-P-K: %) 施用量 _____ kg/10a 施用日 _____ 月 _____ 日
追 肥	肥料名 _____ (N-P-K: %) 施用量 _____ kg/10a 施用日 _____ 月 _____ 日
追 肥	肥料名 _____ (N-P-K: %) 施用量 _____ kg/10a 施用日 _____ 月 _____ 日
土壌消毒	①なし ②あり 薬剤(名称 _____)・太陽熱・その他(_____) 実施月 _____ 月

4. 前作の生理障害、病害虫、問題点等

区 分	内 容
生理障害	①なし ②実の異常(_____) ③葉・茎の異常(_____)
病 害	①なし ②立枯病 ③茎疫病 ④黒根腐病 ⑤白絹病 ⑥縞萎縮病 ⑦雪腐病 ⑧その他(_____) 圃場の _____ %発生
虫 害	①なし ②ダイズシストセンチュウ ③その他(_____) 圃場の _____ %発生
生育、収量、品質面で困っている問題	※改善のための創意工夫があればそれも記入

継続圃場 様式 (輪作のため、対象作物が前年度と異なる場合、新規圃場のカルテ様式に記入して下さい。)

圃場カルテ(水稲)

生産者氏名		土壌採取日	西暦 年 月 日
電話番号		圃場名・番号	
自宅住所		圃場住所	
硬度計データNo.		管理コード(8桁)	道県コード/担当番号/管理番号:

1. 前年作と比較して栽培管理で変更した点とその理由(該当する番号に○印等)

変更の有無	①なし ②あり ※変更ありの場合、変更した点とその理由を以下の欄で回答
変更した点	①品種 ②作土深 ③排水条件 ④水管理 ⑤稲わら処理 ⑥堆肥施用 ⑦土壌改良資材 ⑧施肥法・肥料の種類・施用量 ⑨その他()
変更の理由	①収量向上 ②食味向上 ③白未熟粒の抑制 ④秋落ち症状の軽減 ⑤その他()

2. 本年作の栽培概要(前年作から変更のあった項目について左端の□に✓点と該当する番号に○印等)

□品種名	□栽培期間	田植(年 月 日) → 収穫(月 日)
□排水条件	①漏水過多 ②適切 ③排水不良	
□水管理	①常時湛水 ②飽水管理(月 日～ 月 日) ③間断灌漑(月 日～ 月 日)	
□稲わら処理	①全量鋤込(年前から) ②一部鋤込(年前から) ③持ち出し	
□堆肥	有無:①無施用 ②施用 種類:①牛ふん堆肥 ②豚ふん堆肥 ③鶏ふん堆肥 ④その他() 施用量(t/10a) 施用日(月 日)	
□土壌改良資材	①熔リン ②ケイカル ③苦土石灰 ④石灰窒素 ⑤その他() 施用量(kg/10a)	
□肥料	施肥法:①全面全層施用 ②側条施用 ③苗箱施用	
基肥	肥料名 _____ (N-P-K: %) 施用量 _____ kg/10a 施用日 _____ 月 日	
穂肥	肥料名 _____ (N-P-K: %) 施用量 _____ kg/10a 施用日 _____ 月 日	
穂肥	肥料名 _____ (N-P-K: %) 施用量 _____ kg/10a 施用日 _____ 月 日	
ケイ酸追肥	肥料名 _____ (成分: %) 施用量 _____ kg/10a 施用日 _____ 月 日	

3. 本年作の収量、品質等の結果(該当する番号に○印等)

収量	地域(または生産組織)の平均との比較(地域平均を100とした場合): ①80未満 ②80～100 ③100 ④100～120 ⑤120以上 具体的な収量(kg/10a) 前年作との比較:①向上 ②同じ ③低下
等級	①1等 ②2等 ③3等 前年作との比較:①向上 ②同じ ③低下
未熟粒など	①なし ②白未熟粒多い ③胴割粒多い ④その他() 前年作との比較:①少ない ②同じ ③多い
倒伏	①ほとんどなし ②1/3倒伏 ③1/2倒伏 ④2/3倒伏 ⑤全面倒伏 前年作との比較:①少ない ②同じ ③多い
生育異常・ 土壌病害虫	①なし ②秋落ち症 ③赤枯れ症 ④ガス等発生による障害(春先) ⑤いもち病 ⑥ごま葉枯病 ⑦カメムシ類 ⑧その他() 前年作との比較:①改善 ②同じ ③悪化

4. 本年作で特に重点を置いた改善対策とその結果の感想(または本年の収量・品質に特に影響した要因)

※自由に記載

継続圃場 様式 (輪作のため、対象作物が前年度と異なる場合、新規圃場のカルテ様式に記入して下さい。)

圃場カルテ(葉菜・根菜類)

生産者氏名		土壌採取日	西暦 年 月 日
電話番号		圃場名・番号	
自宅住所		圃場住所	
硬度計データNo		管理コード(8桁)	道県コード/担当番号/管理番号:

1. 以前と比較して栽培管理で変更した点とその理由(該当する番号に○印等)

変更の有無	①なし ②あり ※変更ありの場合、変更した点とその理由を以下の欄で回答
変更した点	①作土深 ②排水条件 ③堆肥 ④土壌改良資材 ⑤施肥法・肥料の種類・施用量 ⑥土壌消毒 ⑦その他()
変更の理由	①収量向上 ②生理障害の抑制 ③土壌病害虫の抑制 ④その他()

2. 前作の栽培概要(以前と比べて変更のあった項目について左端の口に✓点と該当する番号に○印等)

前作	作物名() 品種名() 栽培形態:①ハウス ②露地
□栽培期間	播種または定植(年 月 日) → 収穫(年 月 日)
□排水条件	①排水過多 ②適切 ③排水不良
□堆肥	有無:①無施用 ②施用 種類:①牛ふん堆肥 ②豚ふん堆肥 ③鶏ふん堆肥 ④その他() 施用量(t/10a) 施用日(月 日)
□土壌改良資材	①苦土石灰 ②石灰窒素 ③その他() 施用量(kg/10a)
□肥料	施肥法:①全面全層施用 ②畝内施用
基肥	肥料名() (N-P-K: %) 施用量 kg/10a 施用日 月 日
追肥	肥料名() (N-P-K: %) 施用量 kg/10a 施用日 月 日
追肥	肥料名() (N-P-K: %) 施用量 kg/10a 施用日 月 日
□土壌消毒	①なし ②あり 薬剤(名称:)・太陽熱・その他() 実施月 月

3. 前作の収量、生育状況、可販品率、生理障害、土壌病害虫の結果(該当する番号に○印等)

収量	地域(または生産組織)の平均との比較(地域平均を100とした場合): ①80未満 ②80~100 ③100 ④100~120 ⑤120以上 具体的な収量(t/10a) 以前との比較:①向上 ②同じ ③低下
生育状況	①旺盛すぎる ②適切 ③劣る 以前との比較:①改善 ②同じ ③低下
可販品率	①ほぼ100% ②90%以上 ③80%以上 ④80%未満 以前との比較:①向上 ②同じ ③低下
生理障害	①なし ②葉の異常() ③根の異常() 以前との比較:①少ない ②同じ ③多い
土壌病害虫	①なし ②根こぶ病(アブラナ科) ③立枯病 ④萎凋病 ⑤軟腐病 ⑥萎黄病 ⑦根腐病 ⑧そうか病 ⑨ネコブセンチュウ ⑩ネグサレセンチュウ ⑪ジャガイモシストセンチュウ ⑫ハウレンソウケナガコナダニ ⑬その他() 圃場の__%発生 以前との比較:①少ない ②同じ ③多い

4. 前作で特に重点を置いた改善対策とその結果の感想(または前作の収量・品質に特に影響した要因)

※自由に記載

継続圃場 様式 (輪作のため、対象作物が前年度と異なる場合、新規圃場のカルテ様式に記入して下さい。)

圃場カルテ(果菜類)

生産者氏名		土壌採取日	西暦 年 月 日
電話番号		圃場名・番号	
自宅住所		圃場住所	
硬度計データNo		管理コード(8桁)	道県コード/担当番号/管理番号:

1. 以前と比較して栽培管理で変更した点とその理由(該当する番号に○印等)

変更の有無	①なし ②あり ※変更ありの場合、変更した点とその理由を以下の欄で回答
変更した点	①作土深 ②排水条件 ③堆肥 ④土壌改良資材 ⑤肥料の種類・施用量 ⑥土壌消毒 ⑦その他()
変更の理由	①収量向上 ②生理障害の抑制 ③土壌病害虫の抑制 ④その他()

2. 前作の栽培概要(以前と比べて変更のあった項目について左端の□に✓点と該当する番号に○印等)

前作	作物名() 品種名() 栽培形態:①ハウス ②露地
□栽培期間	定植(年 月 日) → 収穫(年 月 日)
□排水条件	①排水過多 ②適切 ③排水不良
□堆肥	有無:①無施用 ②施用 種類:①牛ふん堆肥 ②豚ふん堆肥 ③鶏ふん堆肥 ④その他() 施用量(t/10a) 施用日(月 日)
□土壌改良資材	①苦土石灰 ②石灰窒素 ③その他() 施用量(kg/10a)
□肥料	
基肥	肥料名 _____ (N-P-K: %) 施用量 _____ kg/10a 施用日 _____ 月 日
追肥	肥料名 _____ (N-P-K: %) 施用量 _____ kg/10a 施用日 _____ 月 日
追肥	肥料名 _____ (N-P-K: %) 施用量 _____ kg/10a 施用日 _____ 月 日
□土壌消毒	①なし ②あり 薬剤(名称:)・太陽熱・その他() 実施月 _____ 月

3. 前作の収量、樹勢、生理障害、土壌病害虫の結果(該当する番号に○印等)

収量	地域(または生産組織)の平均との比較(地域平均を100とした場合): ①80未満 ②80~100 ③100 ④100~120 ⑤120以上 具体的な収量(t/10a) 以前との比較:①向上 ②同じ ③低下
樹勢の特徴	①旺盛すぎる ②適切 ③悪い 以前との比較:①改善 ②同じ ③悪化
生理障害	①なし ②果実の異常() ③葉・茎の異常() 以前との比較:①少ない ②同じ ③多い
土壌病害虫	①なし ②青枯病 ③ホモプシス根腐病 ④疫病 ⑤つる割病 ⑥半身萎凋病 ⑦ネコブセンチュウ ⑧ネグサレセンチュウ ⑨その他() 圃場の _____ %発生 以前との比較:①少ない ②同じ ③多い

4. 前作で特に重点を置いた改善対策とその結果の感想(または前作の収量・品質に特に影響した要因)

※自由に記載

継続圃場 様式 (輪作のため、対象作物が前年度と異なる場合、新規圃場のカルテ様式に記入して下さい。)

圃場カルテ(果樹)

生産者氏名		土壌採取日	西暦	年	月	日
電話番号		圃場名・番号				
自宅住所		圃場住所				
圃場位置	緯度:	経度:	管理コード(8桁)	道県コード/担当番号/管理番号:		

※緯度・経度は、スマホ等を利用して記入する。

1. 前年作と比較して栽培管理で変更した点とその理由(該当する番号に○印等)

変更の有無	①なし ②あり ※変更ありの場合、変更した点とその理由を以下の欄で回答
変更した点	①有効土層の深さ ②排水条件 ③堆肥 ④土壌改良資材 ④肥料の種類・施用量 ⑤土壌消毒 ⑥その他()
変更の理由	①収量向上 ②生理障害の抑制 ③土壌病害虫の抑制 ④その他()

2. 本年作の栽培概要(前年作から変更のあった項目について左端の口に✓点と該当する番号に○印等)

本年作	樹種名() 品種名() 栽培形態:①ハウス ②露地		
<input type="checkbox"/> 樹齢・台木	樹齢(年) 台木名()	<input type="checkbox"/> 日照条件	①不良 ②やや不良 ③良好
<input type="checkbox"/> 排水条件	①排水過多 ②適切 ③排水不良	<input type="checkbox"/> 表土管理	①清耕 ②草生 ③マルチ
<input type="checkbox"/> 堆肥	有無:①無施用 ②施用 種類:①牛ふん堆肥 ②豚ふん堆肥 ③鶏ふん堆肥 ④その他() 施用量(t/10a) 施用日(月 日)		
<input type="checkbox"/> 土壌改良資材	①苦土石灰 ②石灰窒素 ③その他() 施用量(kg/10a)		
<input type="checkbox"/> 肥料			
基肥	肥料名() (N-P-K: %) 施用量(kg/10a) 施用日(月 日)		
追肥	肥料名() (N-P-K: %) 施用量(kg/10a) 施用日(月 日)		
お礼肥	肥料名() (N-P-K: %) 施用量(kg/10a) 施用日(月 日)		
<input type="checkbox"/> 土壌消毒	①なし ②あり 薬剤(名称:)・太陽熱・その他() 実施月(月)		

3. 本年作の収量、糖度、樹勢、生理障害、土壌病害虫の結果(該当する番号に○印等)

収量	地域(または生産組織)の平均との比較(地域平均を100とした場合): ①80未満 ②80~100 ③100 ④100~120 ⑤120以上 具体的な収量(t/10a) 前年作との比較:①向上 ②同じ ③低下
糖度	地域平均との比較:①低い ②普通 ③高い 具体的な糖度(度) 前年作との比較:①向上 ②同じ ③低下
樹勢の特徴	①旺盛すぎる ②適切 ③悪い 前年作との比較:①改善 ②同じ ③悪化
生理障害	①なし ②果実の異常() ③葉・枝の異常() 前年作との比較:①少ない ②同じ ③多い
土壌病害虫	①なし ②紋羽病 ③根頭がんしゅ病 ④ネコブセンチュウ ⑤ネグサレセンチュウ ⑥その他() 圃場の__%発生 前年作との比較:①少ない ②同じ ③多い

4. 本年作で特に重点を置いた改善対策とその結果の感想(または本年作の収量・品質に特に影響した要因)

※自由に記載

継続圃場 様式 (輪作のため、対象作物が前年度と異なる場合、新規圃場のカルテ様式に記入して下さい。)

圃場カルテ(花き)

生産者氏名		土壌採取日	西暦	年	月	日
電話番号		圃場名・番号				
自宅住所		圃場住所				
硬度計データNo		管理コード(8桁)	道県コード/担当番号/管理番号:			

1. 以前と比較して栽培管理で変更した点とその理由(該当する番号に○印等)

変更の有無	①なし ②あり ※変更ありの場合、変更した点とその理由を以下の欄で回答
変更した点	①作土深 ②排水条件 ③堆肥 ④土壌改良資材 ⑤肥料の種類・施用量 ⑥土壌消毒 ⑦その他()
変更の理由	①収量向上 ②生理障害の抑制 ③土壌病害虫の抑制 ④その他()

2. 前作の栽培概要(以前と比べて変更のあった項目について左端の口に✓点と該当する番号に○印等)

前作	作物名()※ 品種名() 栽培形態:①ハウス ②露地
<input type="checkbox"/> 栽培期間	播種または定植(年 月 日) → 収穫(年 月 日)
<input type="checkbox"/> 排水条件	①排水過多 ②適切 ③排水不良
<input type="checkbox"/> 堆肥	有無:①無施用 ②施用 種類:①牛ふん堆肥 ②豚ふん堆肥 ③鶏ふん堆肥 ④その他() 施用量(t/10a) 施用日(月 日)
<input type="checkbox"/> 土壌改良資材	①苦土石灰 ②石灰窒素 ③その他() 施用量(kg/10a)
<input type="checkbox"/> 肥料	
基肥	肥料名() (N-P-K: %) 施用量(kg/10a) 施用日(月 日)
追肥	肥料名() (N-P-K: %) 施用量(kg/10a) 施用日(月 日)
追肥	肥料名() (N-P-K: %) 施用量(kg/10a) 施用日(月 日)
<input type="checkbox"/> 土壌消毒	①なし ②あり 薬剤(名称:)・太陽熱・その他() 実施月(月)

※作物名は、切り花、球根養成の区別も記入する。

3. 前作の収量、生理障害、土壌病害虫の結果(該当する番号に○印等)

収量	地域(または生産組織)の平均との比較(地域平均を100とした場合): ①80未満 ②80~100 ③100 ④100~120 ⑤120以上 具体的な収量(本/10a) 以前との比較:①向上 ②同じ ③低下
生理障害	①なし ②花の異常() ③葉・茎の異常() 以前との比較:①少ない ②同じ ③多い
土壌病害虫	①なし ②立枯れ性病害 ③萎凋病 ④ネグサレセンチュウ ⑤ネコブセンチュウ ⑥その他() 圃場の__%発生 以前との比較:①少ない ②同じ ③多い

4. 前作で特に重点を置いた改善対策とその結果の感想(または前作の収量・品質に特に影響した要因)

※自由に記載

継続圃場 様式 (輪作のため、対象作物が前年度と異なる場合、新規圃場のカルテ様式に記入して下さい。)

圃場カルテ(ダイズ、エダマメ、ソバ、コムギなど)

生産者氏名		土壌採取日	西暦 年 月 日
電話番号		圃場名・番号	
自宅住所		圃場住所	
硬度計データNo		管理コード(8桁)	道県コード/担当番号/管理番号:

1. 以前と比較して栽培管理で変更した点とその理由(該当する番号に○印等)

変更の有無	①なし ②あり ※変更ありの場合、変更した点とその理由を以下の欄で回答
変更した点	①作土深 ②排水条件 ③堆肥 ④土壌改良資材 ⑤肥料の種類・施用量 ⑥土壌消毒 ⑦その他()
変更の理由	①収量向上 ②生理障害の抑制 ③土壌病害虫の抑制 ④その他()

2. 前作の栽培概要(以前と比べて変更のあった項目について左端の□に✓点と該当する番号に○印等)

前作	作物名() 品種名() 根雪日数(日)※
□栽培期間	播種(年 月 日) → 収穫(年 月 日)
□排水条件	①排水過多 ②適切 ③排水不良
□堆肥	有無:①無施用 ②施用 種類:①牛ふん堆肥 ②豚ふん堆肥 ③鶏ふん堆肥 ④その他() 施用量(t/10a) 施用日(月 日)
□土壌改良資材	①苦土石灰 ②石灰窒素 ③その他() 施用量(kg/10a)
□肥料	
基肥	肥料名() (N-P-K: %) 施用量(kg/10a) 施用日(月 日)
追肥	肥料名() (N-P-K: %) 施用量(kg/10a) 施用日(月 日)
追肥	肥料名() (N-P-K: %) 施用量(kg/10a) 施用日(月 日)
□土壌消毒	①なし ②あり 薬剤(名称:)・太陽熱・その他() 実施月(月)

※積雪地域の秋播ムギについては、根雪日数も記載する。

3. 前作の収量、生理障害、土壌病害虫の結果(該当する番号に○印等)

収量	地域(または生産組織)の平均との比較(地域平均を100とした場合): ①80未満 ②80~100 ③100 ④100~120 ⑤120以上 具体的な収量(kg/10a) 以前との比較:①向上 ②同じ ③低下
生理障害	①なし ②実の異常() ③葉・茎の異常() 以前との比較:①少ない ②同じ ③多い
土壌病害虫	①なし ②立枯病 ③茎疫病 ④黒根腐病 ⑤白絹病 ⑥縞萎縮病 ⑦雪腐病 ⑧ダイズシストセンチュウ ⑨その他() 圃場の___%発生 以前との比較:①少ない ②同じ ③多い

4. 前作で特に重点を置いた改善対策とその結果の感想(または前作の収量・品質に特に影響した要因)

※自由に記載

圃場カルテ (水稲)

調査年度 2021年度

管理コード 診断対象作物

1. 圃場の概要と水管理

圃場面積 ha 排水条件 1 漏水過多, 2 適切 3 排水不良

作付け体系 1 単作, 2 田畑輪換 水管理 1 常時湛水, 2 飽水管理, 3 間断灌溉

[2]の作付け順序 [2][3]の開始日~終了日 20 / / ~ 20 / /

2. 本年作の栽培期間と収量・品質

品種名 栽培期間 田植 20 / / ~ 収穫 20 / /

収量 地域 (または生産組織) の平均との比較 (平均を100とした場合) 具体的な収量 kg/10a
1 80未満, 2 80~100, 3 100, 4 100~120, 5 120以上

等級 1 1等, 2 2等, 3 3等 品質 タンパク質含量 %

未熟粒など発生 1 なし, 2 白未熟粒多い, 3 胴割粒多い, 4 着色粒多い その他

3. 本年作への堆肥、土壌改良資材、肥料の施用状況

稲わら処理 1 全量鋤込, 2 一部鋤込, 3 持ち出し [1][2]の実施期間 年前から

堆肥 1 無施用, 2 毎年施用, 3 時々施用 [2][3]の実施期間 年前から 回/年

種類 1 牛ふん, 2 豚ふん, 3 鶏ふん その他

施用量 t/10a 施用日 20 / /

土壌改良資材 1 溶リン, 2 ケイカル, 3 苦土石灰, 4 石灰窒素 その他

施用量 kg/10a 施用日 20 / /

肥料 1 全面全層施用, 2 側条施用, 3 苗箱施用

基肥	肥料名 <input type="text"/>	成分	N <input type="text"/> P <input type="text"/> K <input type="text"/> %	施用量 <input type="text"/>	kg/10a	施用日	20 / /
穂肥	肥料名 <input type="text"/>	成分	N <input type="text"/> P <input type="text"/> K <input type="text"/> %	施用量 <input type="text"/>	kg/10a	施用日	20 / /
穂肥	肥料名 <input type="text"/>	成分	N <input type="text"/> P <input type="text"/> K <input type="text"/> %	施用量 <input type="text"/>	kg/10a	施用日	20 / /
ケイ酸追肥	肥料名 <input type="text"/>	成分	ケイ酸 <input type="text"/> %	施用量 <input type="text"/>	kg/10a	施用日	20 / /

4. 本年作の倒伏、生育障害、病虫害、問題点など

倒伏 1 ほぼなし, 2 1/3, 3 1/2, 4 2/3, 5 全面

生育異常 1 なし, 2 秋落ち症, 3 赤枯れ症, 4 ガス等発生による障害 (春先), 5 初期生育抑制 (下位葉の黄化と分けつ抑制) その他

病害 1 なし, 2 いもち病, 3 ごま葉枯病, 4 紋枯病 その他 発生割合 %

虫害 1 なし, 2 カメムシ類, 3 ウンカ類, 4 イネミズゾウムシ, 5 スクミリングガイ (ジャンボタニシ) その他 発生割合 %

生育、収量、品質面で困っている問題 (改善のための創意工夫があればそれも記入)